

日本クリエイション大賞2020 表彰案件

JAPAN CREATION AWARD 2020

Japan Creation AWARD 2021

日本クリエイション大賞とは？

日本クリエイション大賞は「より豊かな生活文化の創造」を標榜する一般財団法人日本ファッション協会が主催する顕彰事業です。生活をとりまく社会や産業、文化、さらには生活文化そのものの質的な高度化が求められている現代において、未来に向けて新たな足跡を残しうる優秀なクリエイションワークを表彰し、その素晴らしさを全国に広く知らしめることを意図するものです。

大賞 明治神宮

百年先を見据え、英知を結集してつくられた『明治神宮の森プロジェクト』

今日、東京都心代々木に広がる森は、明治天皇と皇后の昭憲皇太后をまつために、1920(大正9)年に創建された明治神宮の鎮守の社として、全国から献ぜられた10万本の樹木とのべ11万人の国民のボランティアによって造林された人工の森である。

当時、現在の御苑一帯を除いて辺り一帯はほとんどが畑で、荒地のような景観が続いていたという。ここに、両御祭神をお慕いし、人々が静かに祈りをささげる「永遠の社」をつくるため、日本の英知が集められ、百年先を見越した造苑計画が立てられた。当時の第一級級の林学の専門家たちがつくった「明治神宮御境内林苑計画」には、「林苑の創設より最後の林相に至るまで変移の順序(予想)」として、五十年後、百年後、百五十年後の森林の変化が4段階の林相予想図として描かれている。

第1段階で植えられた約10万本の献木が、その後人手を介さず淘汰され、百年後の今日、当初の予定より早く、森は第4段階の入り口に至り、現在この森には樹木約36,000本を含むシダ植物や蘚苔類、担子菌類等1,043種、野鳥133種を含む動物その他1,797種で、合計2,840種の絶滅危惧種を含む生物が生息していることが確認された。

百年前に描かれた「永遠の社」づくりへの明確なビジョンと百年先を見据えた壮大なランドデザイン、そしてそれを忠実に守ってきた後代の管理者たちに心からの敬意を表する。



現在の明治神宮と東京ドーム15個分の「神宮の社」/撮影:野口克也



大正初期、創建前の辺り一帯

伝統文化革新賞 松本幸四郎氏(十代目)

新たな歴史を刻む動画配信歌舞伎の創造

コロナ禍によって演劇、音楽などすべての興行が休演や中止を余儀なくされた2020年春。歌舞伎もまた5カ月間の休演が続いた。「このままでは歌舞伎はなくなってしまいかもれない」という焦りと無力感に襲われた十代目松本幸四郎氏が挑んだのが、Web会議システムZoomに着想を得た史上初の生配信専用作品「因夢(げうむ)歌舞伎『忠臣蔵』」の上演である。

構成・演出・出演した幸四郎氏は、単なる名作のダイジェスト版ではなく、役者やスタッフの接触を避け、画面を三分割、四分分割して別々のところで演じている役者が同じ舞台上に立っているように見せたり、録画映像を活用して同時に二役を巧みに演じ分けたり、試行錯誤しながら前例のない試みに挑戦し、400年を超える歌舞伎の歴史に新たな1ページを刻む作品を創造した。動画配信による歌舞伎は、これからも生の舞台と両立する形で進化発展していくことだろう。



因夢歌舞伎『忠臣蔵』/©松竹



松本幸四郎氏(十代目)

社会課題解決貢献賞 Arithmer (アリスマー)株式会社

東大発ベンチャー、数学の力で世界を変える

2016年創業のArithmer(アリスマー)株式会社は、約360社ある東大発のベンチャー企業の中で唯一「数学ベンチャー」を名乗り、あらゆる科学技術の基礎となる数学を企業のコアテクノロジーに据え、これを基盤とした高度AIシステムを活用することで社会課題の解決に貢献することを目指している。

ドローンとAIを活用して水害における浸水被害を短時間で予測する「浸水予測AIシステム」、日本気象協会と共同で開発した「AIを活用した越波検知」、高度AI画像解析技術を活用した「損傷箇所AI検知システム」「画像AI検品システム」「運転支援AIシステム」「自動探寸AIシステム」などなど、同社の「高度数学×AI」によって開発された技術はさまざまな企業に採用され、ソリューションを提供している。



食品ロス削減推進賞 株式会社コークッキング

捨てられてしまいそうな食べ物をレスキューする『TABETE』を運営

SDGsの目標の一つである「食品ロス」削減に向けて、2018年株式会社コークッキングが立ち上げたフードシェアリングサービス「TABETE」は、おいしく食べられるのに余って捨てられるしかない飲食店や小売店と、購入したい消費者をマッチングするプラットフォーム。

プラットフォームに出品された食べ物をテイクアウトすることを「レスキュー」と呼び、食品を廃棄から「救う」という概念を利用者に印象付けた。コロナ禍の中で、登録ユーザーは30万人を超え、創業から2020年8月までにレスキューされた食品の数は累計5万食、約25トンに及ぶ。

さらに2020年4月から試験運用を始めた、規格外品の農産物や在庫過多で困っている食品・食材をTABETEユーザー向けに販売する直送サービス「レスキュー掲示板」では、10月までに累計約4.5トンの食材を廃棄から救っている。



レスキューした食べ物は店舗で直接受け取る

日本クリエイション大賞2021実施要項

1.表彰対象

製品、技術、芸術・文化活動、地域振興、環境、福祉など、ジャンルを問わずクリエイティブな視点で生活文化の向上に貢献し、次代を切り拓いた人物や事象などを表彰対象とします。

2.選考基準

以下のいずれかの要素に該当するもの。

- ① 時代性:時代に衝撃を与え、時代を象徴するもの
- ② 革新性:斬新な発想で社会に新鮮な感動をもたらすもの
- ③ 文化性:人々の心に快適さや豊かさをもたらすもの
- ④ 国際性:国を超えて更には時間を超えて、広く人々に共感をもたらすもの
- ⑤ 社会性:地域や人々の生活を活性化させ、幸せ感をもたらすもの

3.賞の種類

- (1)【大賞】
1件:副賞50万円、楯(澄川伸一デザイン)
- (2)【各賞】
3件:副賞25万円、楯(澄川伸一デザイン)



Arithmer

4.選考について

一般財団法人日本ファッション協会「顕彰制度委員会」にて、3回の審議を経て表彰案件を決定します。

■選考委員長

日覺 昭廣
(日本ファッション協会 理事長、東レ株式会社 代表取締役社長)

■選考委員長代行

岩田 彰一郎
(株式会社フォース・マーケティングアンドマネージメント 代表取締役CEO)

■選考委員(50音順)

伊東 順二(東京藝術大学 教授/アートプロデューサー)
今井 環(公益財団法人NHK交響楽団 元理事長)
内館 牧子(脚本家)
大宅 映子(評論家/公益財団法人大宅壮一文庫 理事長)
加藤 タキ(コーディネーター)
河原 敏文(プロデューサー/ディレクター/CGアーティスト)
永井 多恵子(公益社団法人ユネスコ国際演劇協会 会長)
原 由美子(ファッションディレクター)

5.結果発表および表彰式

第3回選考委員会終了後、マスコミなどを通じて結果を発表し、2022年3月に表彰式を開催します(予定)。

応募方法

自薦・他薦は問いません。所定の応募用紙にご記入いただき事務局までお送りください。なお、関連記事や写真など、案件の内容が分かる資料がございましたら添付願います。※応募用紙は下記HPよりダウンロードしてください。

締切は、2021年10月15日とさせていただきます。

応募先

(一財)日本ファッション協会 日本クリエイション大賞事務局
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-5-1 神保町須賀ビル7階
TEL.03-3295-1311 FAX.03-3295-3295
E-mail: info@japanfashion.or.jp
URL: https://www.japanfashion.or.jp/

応募に関するご注意

- ◆応募内容は公開することもありますので、著作権、版権、工業所有権などの秘密保持を有するものに関してはご注意ください。
- ◆応募書類、資料等の返却はいたしません。
- ◆審査の対象になるかご判断が難しい場合は、お気軽に事務局までご相談ください。

後援

日本商工会議所 東京商工会議所 NHK

個人情報の取扱いについて

※ご提供いただいた個人情報は、当協会が本事業を実施するために必要な範囲でのみ取り扱いします。これ以外で利用する際は、改めて利用目的を通知し、同意を得た上で利用させていただきます。

※ご提供いただいた個人情報について、利用目的の達成に必要な範囲内で第三者へ提供することがあります。

※当協会は取得した個人情報を厳重に管理し、漏洩、滅失または毀損しないよう適切に安全管理し、所定の期間保有した後、安全な方法により廃棄いたします。

個人情報についてのお問合せ窓口

(一財)日本ファッション協会 個人情報管理事務局
TEL.03-3295-1311 FAX.03-3295-3295